

みんなで生きていく

東京2020パラリンピックで、さまざまな障がいのあるアスリートたちが限界に挑戦する姿は、多くの人たちに希望や感動を与えました。また、令和4年10月には、いちご一会とちぎ大会(全国障害者スポーツ大会)が開催され、障がいのあるアスリートの勇姿を間近で見ることができます。

障がいの有無にかかわらず、誰もが能力や適性を生かし、生き生きと暮らせる社会の実現に向けて一人ひとりができることは何か、この機会に考えてみませんか。

☎障がい福祉課 ☎(632) 2353

▲ゆいの杜小学校で行われた盲導犬ふれあい教室

お互いを尊重し助け合う

私たちの周りには、障がいの「有る」「無し」を含め、多様な個性や能力を持った人々が暮らしています。

すべての人が障がいの有無に関わらず、互いに人格や個性を尊重しながら地域で共に暮らせる社会を実現するためには、お互いがどんなことで困っているのかを伝え合い、助け合うことが必要です。

地域共生社会に向けて

皆さんの中には、障がいのある人が困っているにも、声を掛けるのをためらってしまった経験がある人もいると思います。また、障がいがある人の中にも、自分の困っていることを周囲へ伝えることが難しい人もいます。

このようなときに活躍するのが「ヘルプマーク」「ヘルプカード」(下の記事参照)です。これらを見掛けた時には、思いやりのある行動をお願いします。

誰もが能力や適性を生かし、お互い支え合いながら、住み慣れた地域で生き生きと暮らせる社会の実現のために、私たちができることは何か、この機会に考えてみましょう。

＼気付いてください ヘルプのサイン／

ヘルプマーク

ID 1016667



義足や人工関節、難病、妊娠初期など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としていることを知らせるマークです。

このマークを見掛けたら、電車・バスの中で席を譲る、困っている様子の人に「どうしましたか」などと声を掛ける、災害時には、安全に避難するために支援をするなど、思いやりのある行動をお願いします。

＼支援してほしいことが書いてあります／

ヘルプカード

ID 1004229

障がいのある人などが、障がいの特性や支援を受ける際に必要な情報をあらかじめ記入しておくことで、いざというときに、必要な支援や配慮を周囲の人にお願ひしやすくするためのカードです。



このカードの提示があったら、記載内容を確認して、相手が求める支援などをお願いします。

＼啓発物品を配布します／

わく・わくアートコンクール^{イン}
うつのみや2021入賞作品巡回展示会

▼期間・会場 ①12月3～5日=ベルモール(陽東6丁目)②12月10～12日=県子ども総合科学館(西川田町)③12月17～19日=南図書館(雀宮町)。

▼時間 午前10時～午後4時。

▼内容 障がいのある人のアートコンクールで入賞した絵画や造形物など30作品の巡回展。会場では、市内の障がい者支援施設などで製作された啓発物品を配布します(数に限りがあります)。



▲市長賞受賞作品
「コロナに負けるな」

＼本市初の取り組みです／

わく・わくバーチャル美術館Uで
障がい者のアート作品展

▼公開開始 12月3日。

▼内容 10月2日開催の「第19回ふれあい文化祭」の作品展をバーチャルで再現しました。スマートフォンなどから、わく・わくバーチャル美術館Uサイト^{URL1}にアクセスし、ぜひご覧ください。

☎障がい福祉課 ☎(632) 2229

こちらから
チェック

